

慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『図にあたる』

意味:自分が考えていたとおりになること。

ひとつこと:“図”は計画、考えのこと。

使い方:今日の試合では作戦が図に当たって勝てた。

『図に乗る』

意味:物事が考えていたとおりになって、いい気になること。

ひとつこと:調子にのる、の意味。

使い方:百点とったからって、図に乗って勉強をサボっていると、次回ひどい目にあうよ。

『せきを切る』

意味:今まで我慢していたことが、一度にどっと起こること。

ひとつこと:“せき”とは川で水を止める所。

使い方:彼は母の姿を見ると、せきを切ったように泣き出した。

『背に腹はかえられない』

意味:大事な事のためには、他のことなどかまっていられない、の意味。

ひとつこと:大事な内臓のある腹を守るためなら、背中のかまっていられないということからきた言葉。

使い方:大変な病気ときは、背に腹はかえられな、大事な貯金を使って治療しよう。